

機械設備工事特記仕様 (●)を付けたものを本工事に適用する。																																
建築概要																																
工事名称	いなべ市防災備蓄倉庫新築工事																															
工事場所	* 建築仕様書参照																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延べ面積</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>* 建築仕様書参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>* 建築仕様書参照</td> </tr> </tbody> </table>					建物名称	構造	階数	延べ面積	備考					* 建築仕様書参照					* 建築仕様書参照													
建物名称	構造	階数	延べ面積	備考																												
				* 建築仕様書参照																												
				* 建築仕様書参照																												
一般事項																																
適用仕様書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三重県公共工事共通仕様書 ● 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」 ○ 空気調和・衛生工学会規格 ○ 日本建築家協会編 「建築設備工事共通仕様書」 ○ 所轄水道局 ● ガス供給社内規 ● 消防関係法規（所轄署指導要綱含む） ● その他関連法規 																															
優先順位	1. 現場説明事項・質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書																															
申請手続	工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。																															
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面と納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。																															
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。																															
工程表	実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。																															
施工図	請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討する。																															
機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカーの選定にあったっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に務める。																															
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。																															
工事写真	国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂版）—建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。カラーサービス版とする。																															
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。																															
発生材処分	発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」に基づいて適正に処理する。（マニフェストA、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること）建設リサイクル法（三重県指針）に基づき再生資源の十分な利用及び廃棄物の原料等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。																															
特記事項																																
<ul style="list-style-type: none"> ● 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。 ● 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。 ● 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。 ● 建物導入配管（給水、ガス、消火）は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工をおこなう。 ● 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはVP管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。 ● 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。 ● 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ● 土間配管は土間筋に吊り下げなど埋設配管を保持するようにする。 ● 屋外露出及び多湿箇所（トレンチビット等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 ● 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。 ● 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。 																																
共通事項																																
保温工事	<ul style="list-style-type: none"> ● 保温施工範囲は共通仕様書による。 ● 保温施工種別 <ul style="list-style-type: none"> ○ 共通仕様書による。 ● 下表による。給水管の屋外露出・多湿箇所は、ポリスチレンフォーム保温筒とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>屋内露出</th> <th>グラスウール保温筒</th> <th>合成樹脂製カバー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出・多湿箇所</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>ステンレス鋼板仕上げ</td> </tr> <tr> <td>天井・P.S内</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>床下・階室内</td> <td>グラスウール保温筒</td> <td>着色アルミガラスクロス</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 保温厚さ <ul style="list-style-type: none"> ○ 共通仕様書による。 ○ ダクトの保温施工種別、厚さは、共通仕様書による。 ● 下表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）</th> <th>80A以下</th> <th>100~150A</th> <th>200A以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>20mm</td> <td>25mm</td> <td>40mm</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>冷水管・冷温水管</th> <th>25A以下</th> <th>32~200A</th> <th>250A以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>30mm</td> <td>40mm</td> <td>50mm</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 図面に特記ある箇所の冷媒配管の露出部はSUS鋼板巻仕上げとする。保温化粧ケースの特記がある場合は、これによる。 				屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂製カバー	屋内露出・多湿箇所	グラスウール保温筒	ステンレス鋼板仕上げ	天井・P.S内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス	床下・階室内	グラスウール保温筒	着色アルミガラスクロス	給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）	80A以下	100~150A	200A以上		20mm	25mm	40mm	冷水管・冷温水管	25A以下	32~200A	250A以上		30mm	40mm	50mm
屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂製カバー																														
屋内露出・多湿箇所	グラスウール保温筒	ステンレス鋼板仕上げ																														
天井・P.S内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス																														
床下・階室内	グラスウール保温筒	着色アルミガラスクロス																														
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）	80A以下	100~150A	200A以上																													
	20mm	25mm	40mm																													
冷水管・冷温水管	25A以下	32~200A	250A以上																													
	30mm	40mm	50mm																													
工事種別																																
給排水衛生設備	屋外	屋内	屋内																													
給水設備	●	●	●																													
排水設備	●	●	●																													
衛生器具設備		●	●																													
給湯設備		●	●																													
ガス設備		●																														

工事範囲		水道直結方式	
● 給水方式		○ 市水 ○	
○ 受水槽 本体	<ul style="list-style-type: none"> ○ FRP製 ○ 一体型 ○ 複合板 ○ 単板 ○ パネル型 ○ 複合板 ○ 単板 ○ ステンレス製 ○ 一体型 ○ パネル型 ○ 鋼板製 ○ 一体型 ○ パネル型 ○ FRP製 ○ 一体型 ○ 複合板 ○ 単板 ○ パネル型 ○ 複合板 ○ 単板 ○ ステンレス製 ○ 一体型 ○ パネル型 		
○ 高架水槽 本体		○ 一体型 ○ 複合板 ○ 単板	
● 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ● ライニング鋼管 <ul style="list-style-type: none"> - 一般（立上り管）● VA ○ VB ○ VD ○ PA ○ PB ○ PD 屋内地中 ● VD ○ PD ○ SUS ● 塩化ビニル管 ● HI ○ VP ○ ポリ管 ○ さや管工法 ○ 架橋ポリ管 ○ 		
● 弁類	<ul style="list-style-type: none"> 直結部分 ○ 水道業者指定品 その他の部分 ○ JIS 5 kgf/cm2 ● JIS 10 kgf/cm2 		
● 量水器	● 貸与品 ○ 買取品（私設）		
● 引込加入、市納金等	● 要 ○ 不要	● 別途工事 ○ 本工事	
○ その他	○		
● 排水方式	<ul style="list-style-type: none"> 屋内 ● 分流方式 ○ 合流方式 屋外 ○ 分流方式 ● 合流方式 雨水 ● 分流方式 ○ 合流方式 汚水 ○ 下水管 ○ 浄化槽 ○ 合併処理槽 ○ 既存樹 雑排水 ● 下水管 ○ 合併処理槽 ○ 側溝又は河川 ○ 既存樹 雨水 ○ 下水管 ○ 調整池 ● 側溝又は河川 ○ 既存樹 		
● 放流先	<ul style="list-style-type: none"> ○ メカニカル形排水鉄管 ○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手） ● 硬質塩化ビニル管（VP） ○ 耐火被覆ビニル管 雑排水管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）〔機械廻り〕 ○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手） ● 硬質塩化ビニル管（VP） ○ 耐火被覆ビニル管 ○ 耐熱塩化ビニル管（HT） ● 配管用炭素鋼鋼管（白） ● 硬質塩化ビニル管（VP） ○ 耐火被覆ビニル管 通気管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ● 硬質塩化ビニル管（VP） ○ 耐火被覆ビニル管 屋外排水管 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管 ○ 2種 ○ 1種） ● 硬質塩化ビニル管（VP） ● 硬質塩化ビニル管（VU） [150以上] 		
● 樹類	○ 公園形（B種） ○ 現場打ち ○ 市販樹 ● 小口径 ○ ビニル樹		
● 引込工事 市納金等	○ 要 ● 別途工事		
● 大便器洗浄方式	○ FV ○ 節水形 ○ 低圧形		
● 衛生設備設置	<ul style="list-style-type: none"> ● フラッシュ缶式 ● 節水コマ（泡沫式は除く） ○ 普通コマ 		
○ その他	○ 和風便強が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。		
● 給湯方式	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中央式 ○ ボイラー ○ 温水機 ○ ガス給湯器 ○ 電気温水器 ○ 局所式 ○ ガス給湯器 ● 瞬間湯沸器 ○ 電気温水器 		
● 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 銅管（○ M ○ L） ○ 被覆鋼管（○ M ○ L） ○ ステンレス鋼管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） [油] ○ 配管用炭素鋼鋼管（白） [温水] ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 [一般、土中、暗渠] ○ 耐熱性硬質塩化ビニル管 ○ さや管工法（○ 架橋ポリ管 ○ 土） 		
● 燃料	○ 都市ガス ● LPG ○ 灯油 ○ A重油 ○ 電気		
○ その他	○		
● ガスの種別	○ 都市ガス（種別 13A 発熱量 kcal/m3）		
● 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ● 液化石油ガス（発熱量 12,000kcal/kg） ● 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ビニル被覆鋼管 [地中埋設部] ○ ポリ管 ○ 都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。 		
● ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 別途工事 ○ 本工事 ポンプ ○ 10kg ○ 20kg ● 50kg ○ バルク 本数（t） 転倒防止鎖等 ○ (●) 本工事 ○ 別途工事 		
○ 気化装置	○ 要 ○ 電気式 ○		
○ メーター	○ 貸与品 ○ 買取品		
● ガス漏れ検警報器	<ul style="list-style-type: none"> ● 本工事 ○ 別途工事 ● 一般形 ○ 自動遮断弁付 		
○ 引込納付金等	○ 要 ○ 別途工事 ○ 本工事		
○ その他	○		
○ 消火設備の種別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋内消火栓 ○ 屋外消火栓 ● スプリンクラー ○ 泡消火 ○ 粉末内消火 ○ 連結送水管 ○ 連結散水管 ○ 移動粉末消火 ○ フード消火 ○ 消火器 ○ HB-1A ○ HB-1B ○ HB-2A ○ HB-2B ○ HB-3A ○ HB-3B ○ HB-4A ○ HB-4B ○ S 		
○ 屋内消火栓箱	○ HB-21 ○ HB-22		
○ 屋外消火栓箱	○ HB-11A, B ○ HB-12A, B		
○ 連結送水管	○ 鋼管（○ JIS G 3452 ○ JIS G 3454） ○ 消火用塩ビ外面被覆鋼管（VF） ● 通水管 HI VP		
● 配管材料	● JIS 10 kgf/cm2		
○ その他	○ 消火栓箱は指定色焼付塗装とする。		
○ ろ過方式	○ 砂 ○ フィルター		
○ 制御	○ 全自動 ○ 手動		
○ 配管材料	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ 耐熱性硬質塩化ビニル管		
○ その他	○		
○ 方式・容量	○ 合併 ○ 単独		
	算定人員 人槽 処理水量 m3/日		
○ 材質	○ FRP製 ○ コンクリート既製管 ○ RC躯体		
○ 補強スラブ	○ 要 ○ 不要		
○ その他	○		

設計空気条件 (指示なきは建設省建築設備設計基準による)		<夏季> 乾球温度℃ 湿球温度℃ 相対湿度%			<冬季> 乾球温度℃ 湿球温度℃ 相対湿度%		
○ 設計空気条件 (指示なきは建設省建築設備設計基準による)		<夏季> 乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	<冬季> 乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
○ 熱源機器	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冷温水発生機 ○ チラー (○ 空冷HP ○ 空冷 ○ 水冷HP ○ 水冷) ○ 温水ボイラー ○ 水蓄熱 						
● 放熱器	● EHP ○ GHP ○ FCU ○ ACU						
○ その他	○						
● 配管方式	● 冷媒配管 ○ 冷温水配管 ○ 冷却水配管 ○ 温水管						
○ 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷媒管 ○ 冷媒用銅管 ● 冷媒用被覆銅管 (保温厚 ガス管20mm 液管 10mm) ○ 冷温水管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ 冷水・温水管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ 冷却水管 ○ ライニング鋼管 (○ VA ○ VB) ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 硬質塩化ビニル管 (VP) ● ドレン管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ● 硬質塩化ビニル管 (VP) ○ 断熱ドレンホース ○ 油管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○ 外面塩ビ被覆鋼管 ○ 蒸気管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) 						
○ 弁類	○ JIS 5 kgf/cm2 ○ JIS 10 kgf/cm2						
	呼び径100A以上の弁は係員と協議の上パタフライ弁を使用してよい。						
○ その他	○						
○ ダクト設備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風道 ○ 低速風道 ○ 高速風道 ○ 風道材質 ○ 亜鉛鉄板 ○ 塩化ビニルライニング鋼板 ○ ステンレス鋼板 ○ グラスウールダクト ○ 消音フレキ ○ 吹出口・吸込口 ○ アルミニウム製 ○ 鋼板製 (指定色焼付塗装) ○ その他 ○ 						
● 換気方式	● 集中換気 ● 個別換気						
○ 風道	○ 低速風道 ○ 高速風道						
● 風道材質	● 亜鉛鉄板 ○ 塩化ビニルライニング鋼板 ○ ステンレス鋼板 ○ 硬質塩化ビニル管 (VU) ● スパイラルダクト						
○ 吹出口・吸込口	○ アルミニウム製 (指定色焼付塗装) (調理室) (浴室・脱衣室) (一般)						
● 耐火被覆	● 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。						
● その他	● 外気取り入れダクトは、保温を行う。						
○ 風道材質	○ 亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板 (厚1,6mm)						
○ 排煙口	○ 天井取付 (○ スリット形 ○ スイグ形)						
○ 排煙口開放装置	○ 手動 ○ 手動及び遠隔操作可能なもの						
○ 復帰方式	○ 遠隔形 ○ 手元形						
○ 排煙風量測定	○ 建築設備定期検査業務指導書 (日本建築設備安全センター) の排煙風量の検査方式に準ずる。						
○ その他	○						
○ 制御方式	○ 電子 ○ 電気 ○ 空気						
○ その他	○						
○ 自動制御設備							
メーカーリスト 下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。							
管	継手共	水マーク表示品/WSP表示品/JISマーク表示品/HASS表示品/JPF規格品/SAS規格品					
弁	青銅弁・鉄弁	JISマーク表示品					
保温材	RW・GW保温材	JISマーク表示品					
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による					
衛生器具	衛生器具類	JISマーク表示品 JIS規格以外：INAX/TOTO					
水槽	FRP水槽	積水フランド/日立化成/ブリジストン/三菱樹脂					
	鉄パネル水槽	積水フランド/ブリジストン					
樹	樹類 (公園型)	協和コンクリート/榮成工業/昭和工業/ネオジオ/丸八産業					
	樹類 (塩ビ樹)	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準規品					
鉄製品	排水金物	オオタケファンダリー/カナソウ/ダイドレ/中部コーポレーション/南濃鐵工/福西物/ホウキャスト					
	鉄製品蓋	評価事業名簿による					
量水器	量水器	愛知時計電機/金門製作所/リコーエレック					
	ガス配管器具	伊藤工機/桂精機製作所/藤井合金製作所/富士工器					
ガス給湯器	ガス給湯器 (都市ガス)	ガス供給者の承認する製造者の製品					
	ガス給湯器 (LPG)	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したものの					
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所/富士工器/富士電機/松下電工/矢崎総業					
厨房機器	厨房システム	評価事業名簿による					
濾過装置	濾過機	オルガノ/栗田工業/サンエイ工業/三協/三進ろ過工業/タクマ/理水化学工業					
滅菌機	滅菌機	磯村製作所/オーヤックス/水道機工/日本曹達					
	消火設備	消火栓類	立売堀製作所/岸本産業/北浦製作所/村上製作所/横井製作所				
消火設備		消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品				
		スプリンクラー・泡消火	ノーマ/ニッタン/日本ドライケミカル/能美防災/ホーチキ				
		特殊ガス消火	川重防災工業/セコム/日昭/林テクノス/日徳防災/ニッタン/能美防災				
浄化槽	合併浄化槽 (RC造)	神鋼パレット/ダイキ/東海不二工業/西原ネオ工業/フジクリーン工業/藤吉工業					
	合併浄化槽 (FRP製)	建設大臣型認定品					
簡易水洗	クリントイレ	INAX/積水化学工業/ネボン/日立化成工業/松下電器産業/ロンシール					
	プロア	朝日機工/アンレット/新明和工業/安永					
グリストラップ	gris/galstrapp	カナソウ/栗本鐵工所/下田機工/積水フランドシステム					
	製缶類	島倉鉄工所/広島鉄工/バルテクノ/前田鉄工所/前田鉄工所 (四日市)/森松工業					
空気調和機	パッケージ形空調機	ダイキン工業/東芝/日立製作所/松下電器産業/三菱重工工業/三菱電機					
	ガスエンジン空調機	アイシン/三洋/三菱重工/ヤンマー					
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工/高砂ゴム/特許機器/ブリヂストン/明和ゴム化成					
加湿器	加湿器	ウエットマスター/ビーエス工業/山武軽装					
送風機	送風機類	評価事業名簿による					
換気扇	換気扇類	栗田工業/東芝/日立製作所/松下電器産業/三菱電機					
ダクト付属品	吹出口・吸込口	空研工業/新晃工業/トキン/錦興業					
	風量ユニット	エアコンスター/クボタ/新晃工業/東アスレ					
	ダクト	亜鉛鉄板	JIS規格品				
		ステンレス鋼板	JIS規格品				
		スパイラルダクト	大阪ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業				
		フレキダクト	アライ実業/オーツカ/栗本鐵工所				
自動制御	自動制御機器	トキメックランディスギア/山武ハネウェル/横河ジョンソンコントロールズ					

 株式会社 トクオ 名古屋・東京・大阪・三重	更新	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1345号 管理建築士 吉田 誠	作成 平成31年 3月15日	設計者【代表設計者】 一級建築士登録 第359460号 山田 真希	工事名 いなべ市防災備蓄倉庫新築工事	M-01
	図面名	機械設備 特記仕様書	縮尺	A1		

図示記号

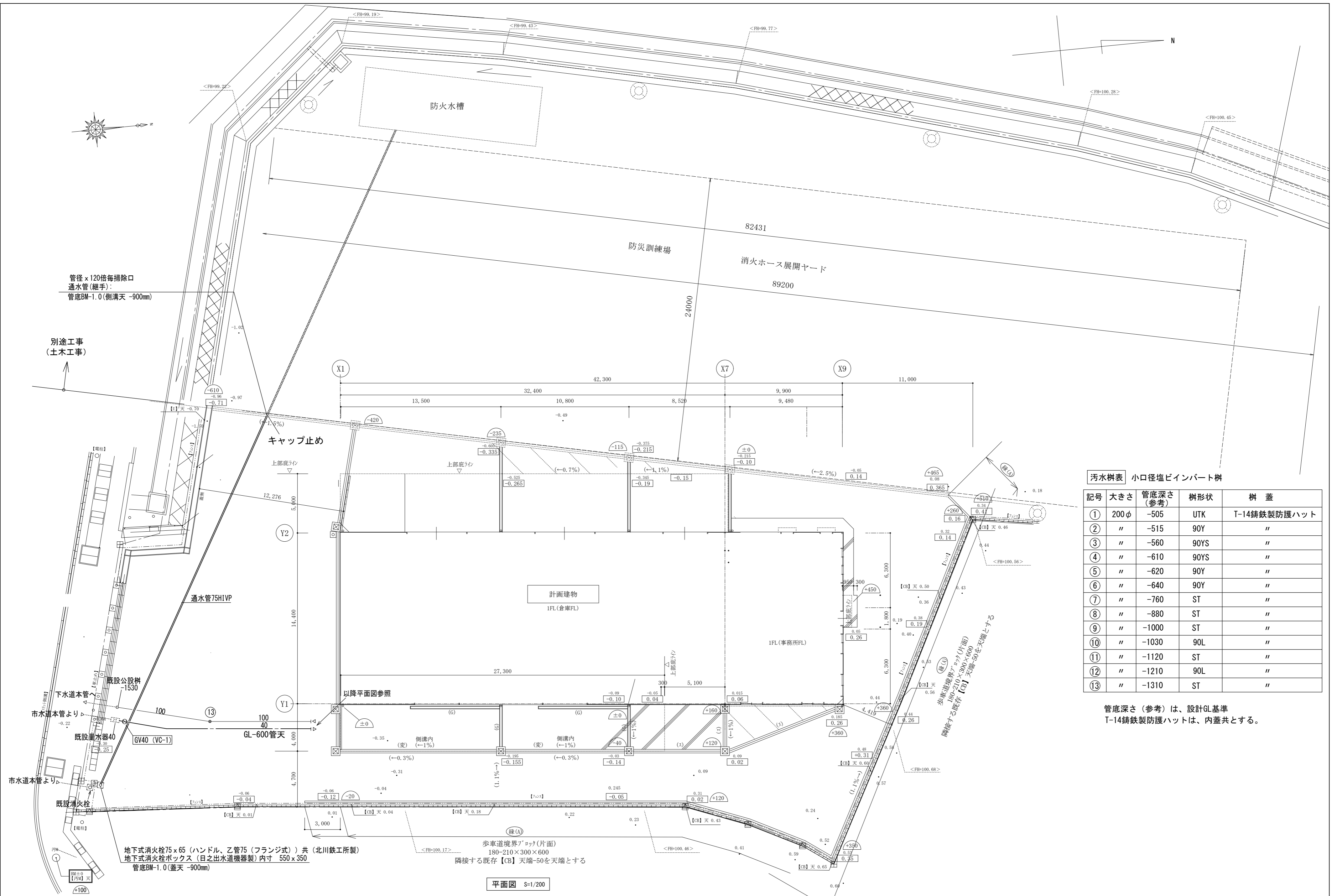
記号	名称	記号	名称
———	屋外給水管	⊗	給水栓
———	屋内給水管	⊗	混合水栓
———	雑排水管	+○	ガス栓
———C	污水管	⊗	排水金物
-----	通気管	⊕	床上掃除口
———	屋外排水管	⊗ ⊙	弁類
———G	ガス管	⊗	汚水枳
		○	雨水枳

衛生機器表

記号	名称	形式 能力 仕様	電源	数	備考
GW-1	ガス湯沸器 (LPガス仕様)	元止式 5号 キッチンシャワー付 付属品 止水栓13A、SUSフレキ13A、x300L、可とう管コック、強化ガスホース		1	
PGH-1	LPガス集合装置	ガスボンベ 50Kg 1+1本立て 自動切替圧力調整器、GC20、転倒防止チェーン共 付属品 LPガス容器収納庫 後部パネル付 (参考型番 BN-100MT)		1	基礎H=150(本工事)

衛生器具表

名称	品番	付属品	設置場所							計
			男子便所	女子便所	手洗い	事務室	屋外			
洋風大便器 (暖房洗浄便座無し) 掃除口付 フラッシュタンク方式	CFS497BC	TC301 (普通便座)	2							2
洋風大便器 (暖房洗浄便座無し) 掃除口付 フラッシュタンク方式	CFS497BLC	TC301 (普通便座)		2						2
L形手すり	T112CL9		2	2						4
紙巻器	YH701		2	2						4
壁掛小便器 (手動FV)	UFH500	TG600PL, T9R	3							3
洗面器 (自閉式立水栓) (水石入れ無し)	L210D	TL19AR, T6PM1, TL250D	2	2	2					6
盗難防止形化粧鏡 350 x 450	YM3545AE				2					2
盗難防止形化粧鏡 450 x 600	YM4560AE		2	2						4
自在水栓	T130AUN13C					1				1
吐水口回転形横水栓	T200SNR13C		1	1						2
吐水口回転形横水栓 (キー式)	T200CSNR13							1		1
樹脂製水栓柱70角 x 1200H								1		1
流し台、ガス台	建築工事					1				1
双口ガスコック (ヒューズ付)	1φ100V					1				1
ガス漏れ警報器						1				1



汚水樹表 小口径塩ビインバート樹

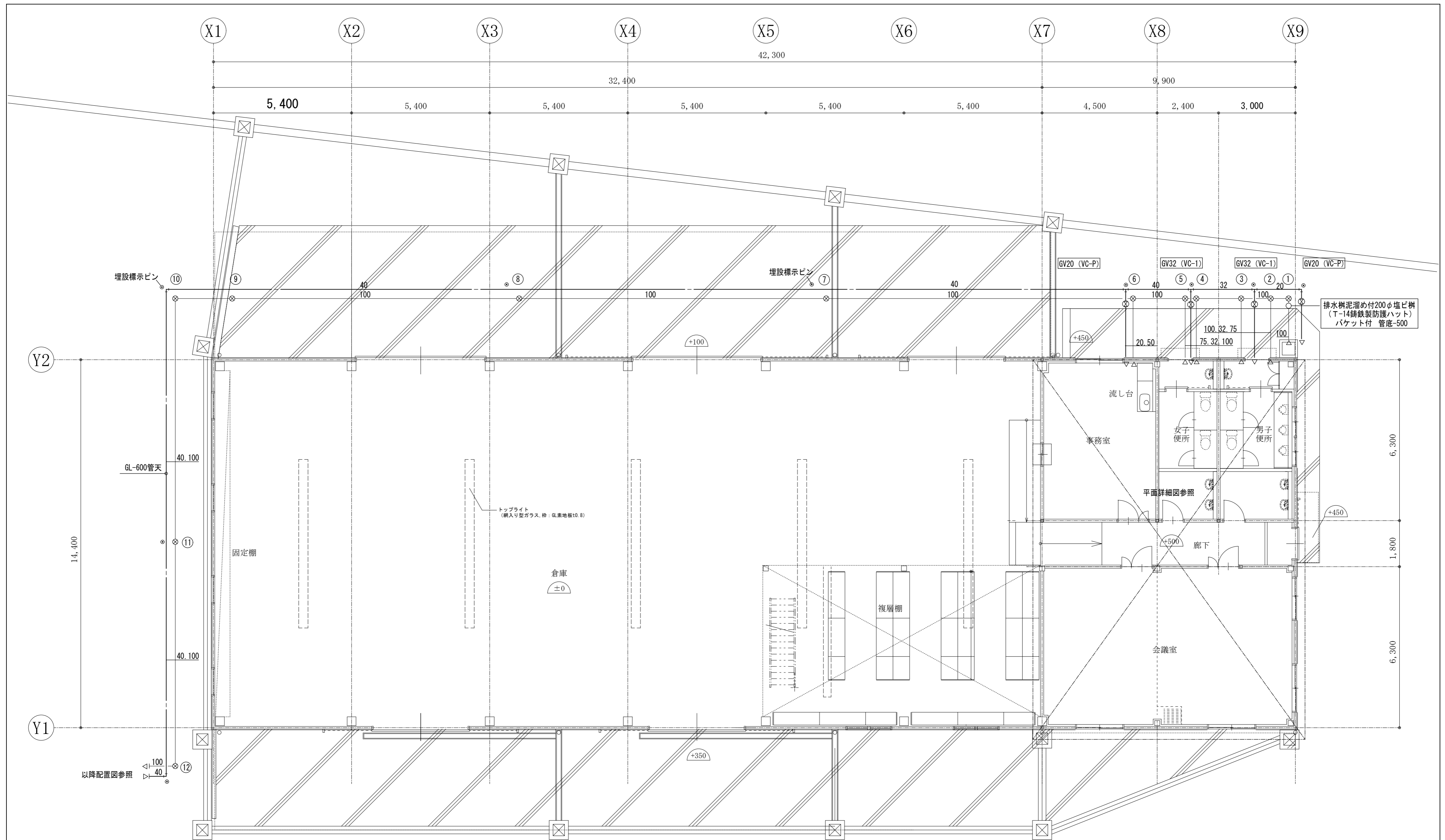
記号	大きさ	管底深さ (参考)	樹形状	樹蓋
①	200φ	-505	UTK	T-14 鑄鉄製防護ハット
②	"	-515	90Y	"
③	"	-560	90YS	"
④	"	-610	90YS	"
⑤	"	-620	90Y	"
⑥	"	-640	90Y	"
⑦	"	-760	ST	"
⑧	"	-880	ST	"
⑨	"	-1000	ST	"
⑩	"	-1030	90L	"
⑪	"	-1120	ST	"
⑫	"	-1210	90L	"
⑬	"	-1310	ST	"

管底深さ(参考)は、設計GL基準
T-14鑄鉄製防護ハットは、内蓋共とする。

地下式消火栓75×65 (ハンドル、乙管75 (フランジ式)) 共 (北川鉄工所製)
地下式消火栓ボックス (日之出水道機器製) 内寸 550×350
管底BM-1.0 (蓋天 -900mm)

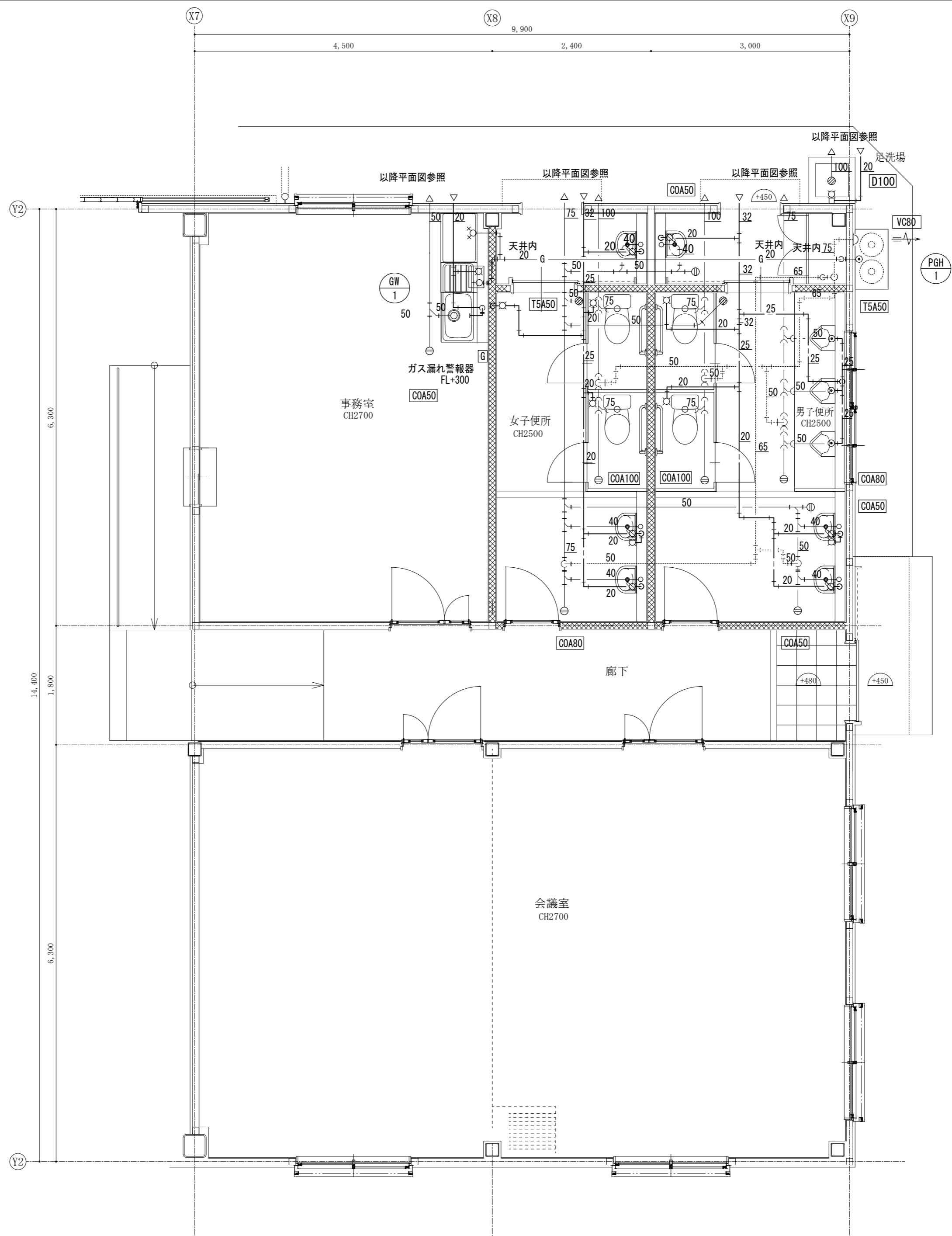
歩車道境界ブロック (片面)
180-210×300×600
隣接する既存【CB】天端-50を天端とする

平面図 S=1/200



平面図

±0 ……1FLからのバールを示す



図示記号

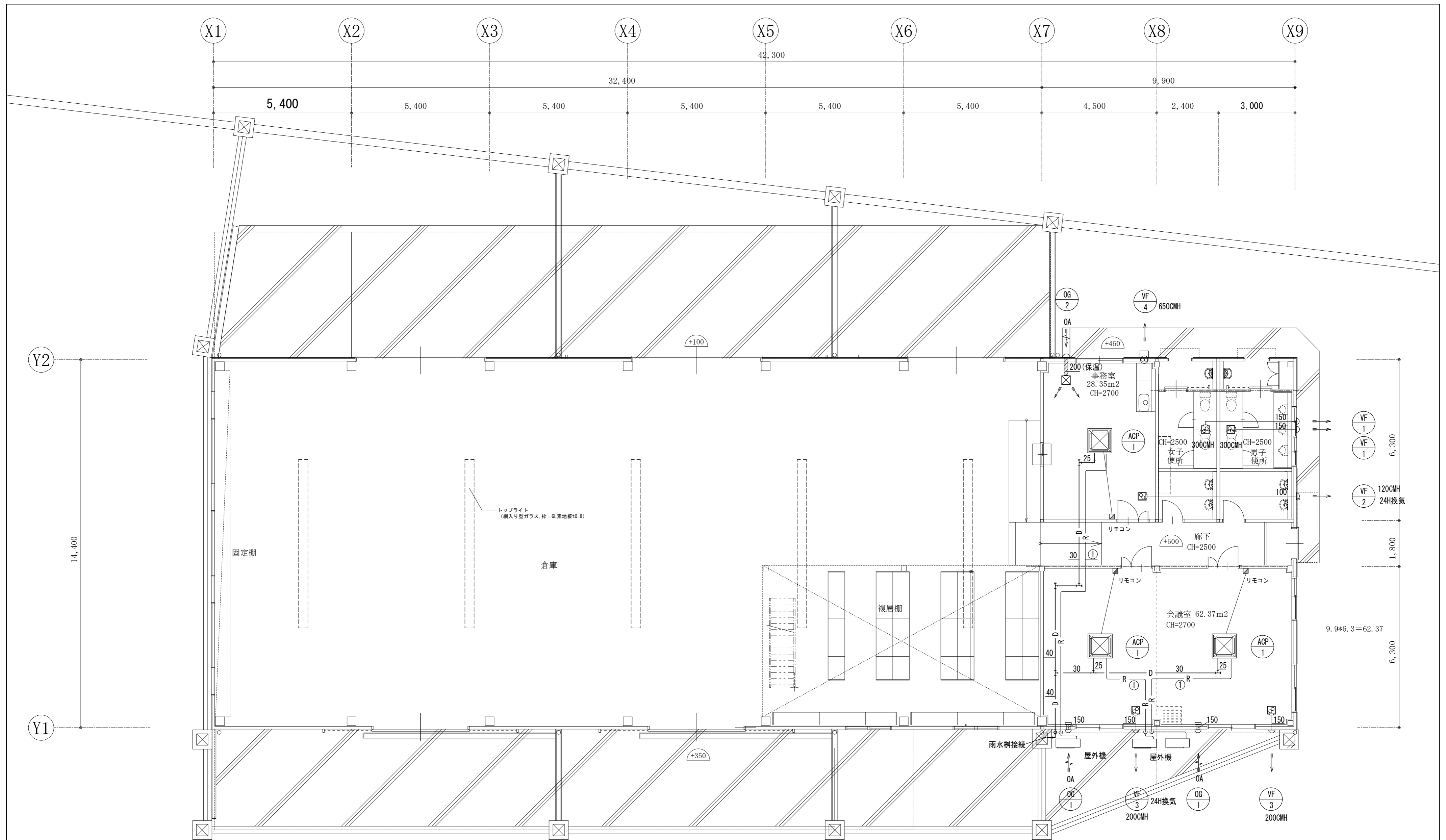
記号	名称	備考
R	冷媒管	保温付冷媒用銅管
D	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (V P)
	換気ダクト	円形ダクトースパイラルダクト

空調機器表 空冷ヒートポンプ式

記号	機器名 参考型番	機器仕様		電源容量			台数	設置場所	備考	
				φ	V	圧縮機 kW				
ACP 1	パッケージエアコン PLZ-ERMP80ER	形式	天井カセット四方向吹	電力	1	200	1.6	3	事務室、会議室	屋外機基礎— タイガーベース 防振バット敷
		冷房能力	定格 7.1 kW		消費	冷房	1.88			
		暖房能力	定格 8.0 kW		電力	暖房	2.03			
		冷媒配管	液管 9.5φ ガス管 15.9φ		電力	低温	3.41			
		付属品	ワイヤードリモコン、他一式共							
特記事項		1. 冷暖房能力、電気特性はJIS条件に準拠した値とする。 2. 室外機—室内機間渡り配線は冷媒管共巻 3. 屋外機は、転倒防止対策を施す事基礎のタイガーベースは、地盤と固定の事。								

換気機器表

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様		電気容量		台数	設置場所・備考	備考
				電源 (V)	電動機 (W)			
				VF 1	天井換気扇 VD-20ZB10			
VF 2	天井換気扇 VD-15ZXP10-C	形式 風量 付属品	低騒音形 インテリア格子タイプ 120 m ³ /h X 100 Pa 天吊金具、SUS製深形PF (ガラリ付)、他一式共	1φ-100 22.5	1	事務室		
VF 3	天井換気扇 VD-18ZX10-C	形式 風量 付属品	低騒音形 インテリア格子タイプ 200 m ³ /h X 60 Pa 天吊金具、SUS製深形PF (ガラリ付)、他一式共	1φ-100 28.5	2	会議室		
VF 4	壁付換気扇 EX-25EMP6	形式 風量 付属品	台所用 電気シャッター式 650 m ³ /h X 13.5 Pa 木枠、SUS製ウエザーカバー (防虫網付)	1φ-100 26.0	1	事務室		
OG 1	外気取入口 P-18WQU	形式 付属品	自然給気ユニット150φ (フィルター付) SUS製深形PF (ガラリ付) 150φ		2	会議室		
OG 2	外気取入口 P-23GFS3	形式 付属品	天井埋込形フィルター付グリルサイレンサー SUS製深形PF (ガラリ付) 200φ		1	事務室		
特記事項		1. 機器は、すべて耐震対策、振止め対策を施す事。 2. 強弱スイッチは電気工事へ支給とする。						



平面図

冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管	屋内外機液り配線
①	15.9φ	9.5φ	EM-EEF2.0-3C IE1.6

リモコン配線—VCT0.75-2C 壁内PF16内配線

シックハウス症候群対策に基づく換気量の計算										
階	部屋名	面積 (m ²)	天井高 (m)	室気積 (m ³)	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m ³ /h)	決定換気量 (m ³ /h)	換気の種類	換気機器記号	換気回数 (回/h)
1	事務室	28.35	2.7	76.55	0.3	22.97	120	第3種	VF-2	1.56
1	会議室	62.37	2.7	168.40	0.3	50.52	200	第3種	VF-3	1.18

丸ダクトの直管相当長さ		
曲がり部 (R/D=1.0)	100φ	1.5m
	150φ	2.3m
	200φ	3.0m

ダクト部材の相当長さ			
名称	口径	型番 (三菱電機)	(相当長)
フード	100φ	P-13VS4	5.0m
フード	150φ	P-18VS4	10.0m
フード	200φ	P-23VS4	16.0m

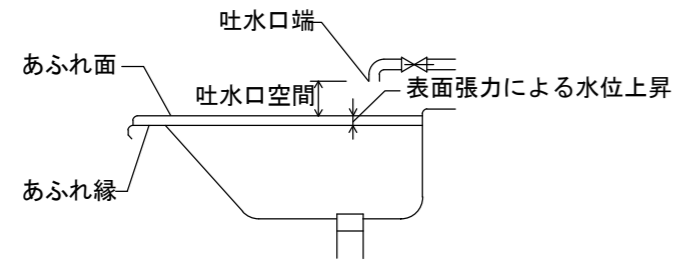
圧力損失計算書

直管相当長による方法 (簡略法)																
換気 種別	階	部屋名	機器記号	機器名称	(口径φ)	A 直管 (m)	曲がり部 B			C 部材の相当長 (m) フード	A+B+C 相当長計 (m)	換算圧力損失 (Pa)	設計圧力 ≤ (Pa)	有効換気量 設計換気量 (m ³ /h)	判 定	選定型番 (三菱電機)
							(R/D=1.0)	個数	計							
3	1	事務室	VF-2	天井換気扇	100φ	6.0	1.5	0	0	5.0	11.0	29.7	100	120	よってOK	VD-15ZXP10-C
3	1	会議室	VF-3	天井換気扇	150φ	1.0	2.3	0	0	10.0	11.0	10.8	60	200	よってOK	VD-18ZX10-C

換気計算書

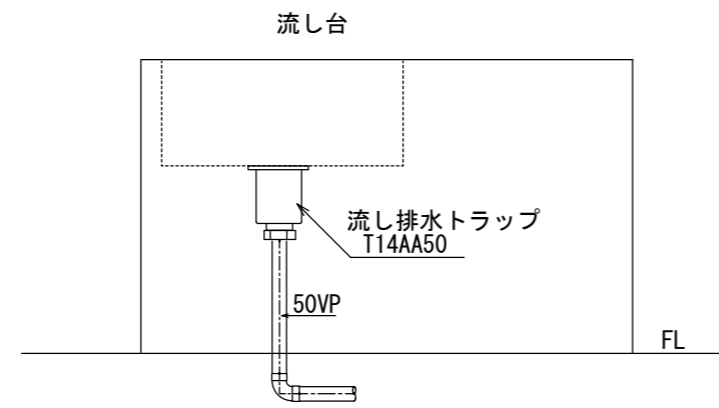
建築基準法に基づく火気に対する換気 (建築基準法施行令第20条の3第2項)										
電気式: V=定数・Q (消費量による)										
階	部 屋 名	換気 種別	機 器 名 称	燃料消費量 Q (kW)	理論廃ガス量 K	換気装置別 定数	有効換気量 (m ³ /h)	排気ファン 記号	設計風量 V (m ³ /h)	備 考
1	事務室	3	ガスコンロ2口 ガス湯沸器5号	5.6 10.5 計16.1	0.93	40	598.92	VF-4	650	よってOK

「建築基準法施行令第129条の2の5第2項第二号」
に規定する吐水口空間



給水管の内径と吐水空間の目安

給水管の内径 (mm)	吐水口空間	
	吐水口周辺近くに壁のない場合	吐水口周辺近くに壁のある場合
13以下	25	40
19以下	40	55
25以下	50	75
25超	有効開口径の2倍	有効開口径の3倍

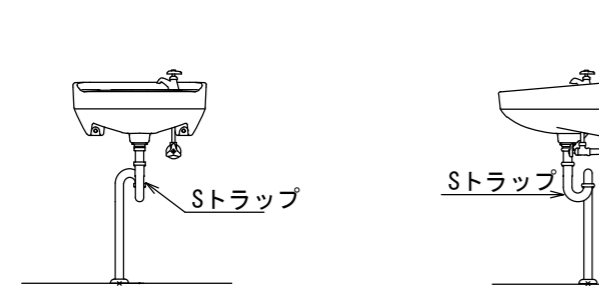


(b) 流し台の場合 流し排水トラップ規格JCW202

吐水口空間要領図

排水トラップの措置について

「建築基準法施行令第129条の2の2第3項」
に規定する排水トラップ、通気等を設置する等衛生上必要な措置について



(a) 洗面器、手洗器の場合

- 床排水トラップ JIS A 4002
- 床排水トラップ JCW201
- 流し排水トラップ JCW202

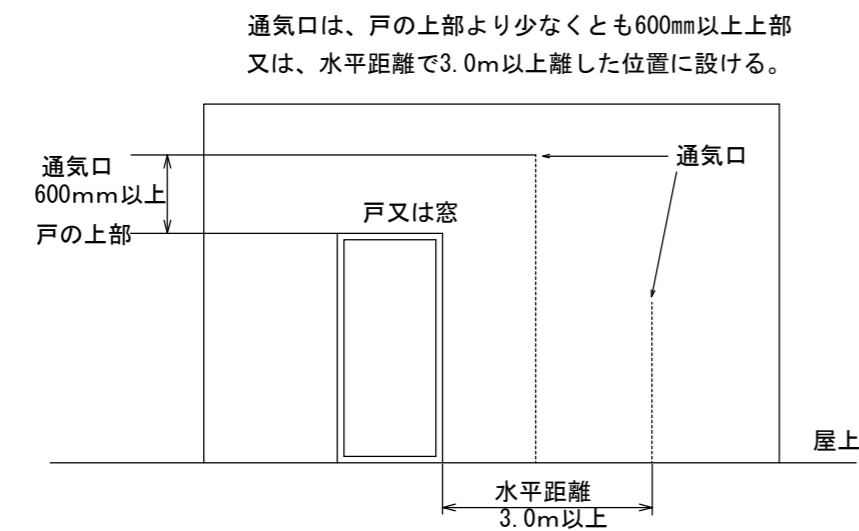
排水トラップの規格

管径を大きくして、流速を小さくする。

排水トラップの措置について

ウォーターハンマー防止の為の措置

「建築基準法施行令第129条の2の5第3項」
昭50建告第1597号に適合する構造方法



通気口の位置

ガス給湯機

1. 過熱防止安全装置 (温度ヒューズ)
2. 立消え安全装置 (フレイムロッド)
3. 過圧防止安全装置 (スプリング式)
4. 残火安全装置 (バイメタルスイッチ)
5. 凍結予防装置 (水抜き、電気ヒーター)

給湯設備に設け安全装置の種類